

名城大学工学部環境創造学科主催

「第7回 高校生・環境エッセイコンテスト」で

1年生 木村 心優 さんが

『東海地域賞』を受賞しました！



↑名城大学での受賞の様子



受賞した木村さん→

このコンテストは、名城大学工学部環境創造学科が21世紀を担う高校生に、環境について考え・学ぶきっかけとするために設立した賞で、全国の高校生が応募し本年度で7回を数えます。毎回厳正な審査が行われ時には金賞が出ないこともあります。(ちなみに、本年度も金賞は該当なし。計7回中、該当は1回のみ。)

賞は全部で5つあり(環境賞、金賞、銀賞、銅賞、東海地域賞)、環境賞と金賞は該当者がなく、木村さんは堂々の東海地域賞の受賞となりました。

内容は、県の無形民俗文化財に指定されている「祖父江の虫送り」行事から、田んぼに関する行事を考察し、そこから日本人と田んぼの関わりや自分たちが取り組んでいる絶滅が危惧されているヘイケボタルの幼虫放出活動から環境問題を考えるという大作になっています。

タイトルは「日本人と田んぼ(伝統と環境)」です。下記の名城大学のHPから読むことができます。ぜひ、御一読ください。

→ <http://env.meijo-u.ac.jp/labs/rk001/essay/index.html>